

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 2 月 16 日 (2006.2.16)

【公開番号】特開 2003-204367 (P2003-204367A)  
 【公開日】平成 15 年 7 月 18 日 (2003.7.18)  
 【出願番号】特願 2002-358991 (P2002-358991)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 L 29/06 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 L 13/00 3 0 5 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 12 月 28 日 (2005.12.28)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 2 のノード (110) から第 1 のノード (110) へ情報を送信する方法であって、  
 前記第 1 のノード (110) と前記第 2 のノード (110) の間に通信リンク (130) を確立するステップと、  
 前記第 1 のノード (110) と前記第 2 のノード (110) の間で、前記通信リンク (130) を介した 1 以上のデータランザクションの送信を可能にするステップと、  
 前記第 2 のノード (110) から前記第 1 のノード (110) へ送信されているデータランザクションのデータストリーム (135) を識別するステップと、  
 前記ランザクションを停止させ、前記データストリーム (135) に情報を挿入することにより、前記データストリーム (135) によって前記情報を前記第 2 のノード (110) から前記第 1 のノード (110) へ送信するステップと  
 からなり、  
 前記第 2 のノード (110) から前記第 1 のノード (110) に対してデータランザクションが開始された場合、前記情報は該データランザクションの一部を構成しない、方法。

【請求項 2】

前記第 1 のノード (110) 及び前記第 2 のノード (110) を 2 つの異なる周波数で動作させるステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 のノード (110) にタスクを実行させるための命令を前記情報に含めるステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記情報を前記第 1 のノード (110) と前記第 2 のノード (110) との同期をとるために通常用いられるバケットに入れて送信するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記情報を前記第 2 のノード (110) から前記第 1 のノード (110) へ送信されているデータストリームの一部としてカウントされないバケットに入れて送信するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 のノード (110) および前記第 2 のノード (110) が、コンピュータシステム、ネットワーク装置、マイクロプロセッサおよび電子チップからなるグループの中から選択され

る、請求項 1 に記載 1 の方法。

【請求項 7】

前記トランザクションを停止させた時点での該トランザクションの状態を保存し、保存された前記状態に基づいて前記トランザクションを再開させるステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

第 2 のノード (110) から第 1 のノード (110) へ情報を送信する方法であって、

前記第 1 のノード (110) と前記第 2 のノード (110) との間に通信リンク (130) を確立するステップと、

前記第 2 のノード (110) から前記データリンク (130) を介して第 1 のノード (110) へ送信されているデータトランザクションであってヘッダおよび複数のデータ片 (135) を含むデータトランザクションを識別するステップと、

前記第 1 のノード (110) において前記データ片 (135) をカウントし、前記ヘッダのデータに基づいて前記トランザクションの終わりを識別するステップと、

前記データトランザクションを停止し、前記情報を含むパケットを前記第 1 のノード (110) へ向けて前記通信リンク (130) に送信するステップと、

前記第 1 のノード (130) において前記パケットが前記トランザクションの一部ではないものとしてカウントするステップと、

からなる方法。

【請求項 9】

前記第 1 のノード (110) 及び前記第 2 のノード (110) を 2 つの異なる周波数で動作させるステップをさらに含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 のノード (110) にタスクを実行させるための命令を前記情報に含めるステップをさらに含む、請求項 8 に記載の方法。